

初等中等教育学科

初等中等教育学科では、キリスト教的人間観を理解し、
 児童生徒一人一人の個性を認めながら
 個々の学びを最大限に引き出し、
 主体的な学びを支援する伴走者となる
 小学校、中学校、高等学校の教員を養成します。
 また、グローバル化する地域社会において
 多様な他者や地域と協働して
 これからの地域に貢献する教育者を目指します。



Let the little children come to me, and do not hinder them,
 for the kingdom of God belongs to such as these.

子どもたちを私のところに来させなさい。妨げてはならない。
 神の国はこのような者たちのものである。

—マルコによる福音書 10章14節—

養成する人材像

キリスト教的人間観を理解し、小学校、中学校、高等学校の教員として児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、
 主体的な学びを支援する伴走者として専門的知識と高い実践力を備えた教育者を養成する。

学びのポイント

01 国際理解を深め、学習者のモチベーションを重視する英語教育

各学年で英会話の授業を開講するなど充実した英語科目に加え、語学研修、短期・長期留学による充実した英語教育を実施します。English Centerには、ネイティブ教員が常駐し、多彩な講座も開講され日常的に英語に触れて学ぶことが可能です。



02 子どもの学びに寄り添う課題解決型学習の実践

キャリアデザイン科目による体験学習やフィールドワークなど、学内外での主体的活動や基礎ゼミ、プロゼミ、専門ゼミを通して、体系的に課題対応能力・対人対応能力を高めます。



03 教員採用試験対策から合格まで一貫した支援体制

1年次後期から週1回のペースで実際に併設校に通う学習支援ボランティア、2年次からの教員採用試験対策講座など教員採用試験合格に向けた体系的な本学独自プログラムを用意しています。



取得可能な資格

- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(英語)
- 幼稚園教諭一種免許状

※幼稚園教諭一種免許状は、一定のGPA以上の者に限り履修を認めるものとする。

学び場プログラム 高度な教育者養成プログラム

児童・生徒を「観る」「関わる」「理解する」ことから、「一人一人と関わる力」「子どもの課題に向き合う力」「集団(クラス・学年・学校)を運営する力」を段階ごとに身に付け、「児童・生徒が互いに尊重し、学び合う喜びを味わうこと」を基調とした教師を養成することを目的としたプログラムです。また、「児童とともに英語・国際理解を楽しむことのできる小学校教員」「地元でリーダーシップを取れる中高英語教員」の育成を目指します。

初等中等教育学科 アドヴァンスト・プログラム

あなたのやる気と能力に応えるアドヴァンスト・プログラムを用意しました。

通常取得可能な免許 | 小学校教諭一種免許・中学校教諭一種免許・高等学校教諭一種免許

より強みのある
教育者に!

幼稚園教諭免許

アドヴァンスト・プログラムの詳細は [次ページへ](#)

1年次 2年次 3年次 4年次

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階
子どもを観る、自分を観る	子どもと関わる	教師について理解する、異文化を理解する	教えるということを理解する	教育の仕事を理解する	クラス・学校について理解する	自己課題に応じて知識技能を高める	強みを生かした教育者になる
 <p>このプログラムの特徴の一つは、1年次前期から将来就きたい職場について見学、参観できるという点です。これは幼稚園、小学校、中学校、高等学校と全学校種が揃っている、日本海側で唯一のキリスト教総合学園だからできるプログラムです。この段階では、子どもを間近に観て、保育者になろうという意欲が高まります。また、幼稚園、保育所、認定こども園を卒園した子どもたちが学校生活の中でどのように育っていくかを考えることができます。</p>	 <p>第1段階で高まってきた意欲をもって子どもと関わる体験をします。子どもたちが遊び学んでいく様子を、関わりを通して考えることで実際にどうすればよいかわかるといえるようになります。また、児童・生徒の発達段階、児童・生徒への声掛け、教材研究、指導法など、学んでみたいことが具体的にになってきます。さらには、児童・生徒一人一人と関わることの重要性についても考えることができます。</p>	 <p>この段階では、児童・生徒に向き合う教師としてのあり方について考えると同時に、教師としての仕事を全般的に学びます。また、児童・生徒の学びの課程を踏まえた上で関わることの重要性についても考えます。そして、異文化について国際言語である英語を学ぶことで、異文化間のコミュニケーションの重要性についても考えることができます。ここで学ぶのが児童・生徒の力を伸ばすことができる教師に生かされます。</p>	 <p>対象者である児童・生徒について理解する姿勢に加え、各教科について何をどのよう指導するかを教育学のみならず心理学の観点からも考えます。教科指導法では、指導案の作成だけでなく、実習を想定して模擬授業などを行います。また、プレ実習として実習予定校において学習支援員として活動します。これらはすべて、3年生以降で経験する実習の準備になります。英語についても同様で、小学校では外国語活動、外国語、中学校・高等学校の外国語の指導について学び、実習に備えます。</p>	 <p>この段階では、自分が主免許とする学校で実習を行います。大学の学びだけでは得られなかった実践による学びを経験します。授業の指導のみならず、学校生活全般について、教育の仕事について学びます。研究授業では、これまで培ってきた専門知識と技能、授業準備が実際の授業の中でどのように生かされるかということについて振り返ることができます。またその振り返りを通して、今後の課題についても整理することができます。</p>	 <p>実習で得られた経験を踏まえて、クラスの運営、学校の運営について、学びを深めていきます。特に教育の目的を達成するためには、校内の組織だけでなく、地域との連携が必要であるという「チーム学校」という観点から学校教育を考えます。また、異文化間での共生という観点から、国際言語を学ぶことの重要性についてさらに具体的に考えることができます。</p>	 <p>すべての授業や実習で得られた学びを通して、ディプロマ・ポリシーである「初等中等教育において、教育者の役割や職務内容を良く理解している。」「子どもの育ちや発達、英語・英語教育に関する専門的知識に基づき、小・中・高の教育連携を意識した教育が実践できる。」「子どもの育ちや発達に関する専門的知識に基づき、子どもや保護者に寄り添って自らの教育観、子ども観を自分の言葉で語る事ができる。」について考えます。そして、自分の言葉を教育の場で働く方々に対してどう伝えていくかを考えます。</p>	 <p>まとめの科目として「教職実践演習」、社会人基礎力として外部アセスメントテストを実施し、両面から自分を振り返ることで、卒業後の自分をさらに具体的にイメージさせます。専門ゼミレポート・卒業研究を完成させることで更なる研究課題に向けて学び続ける教育者、自分の強みを生かして、児童・生徒と地域社会を支える教育者へと成長します。</p>
<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域社会と子ども 将来働く職場を見学し、参観します。 ■ キャリアデザイン I これからの人生設計について学びます。 ■ 教育学概論 教えるとはなにか、学ぶとはなにかという内容を概観します。 ■ アクティブイングリッシュA 国内留学で異文化を体験します。* 	<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ キャリアデザイン II 放課後児童クラブ(学童保育)や公民館イベントなど、子どもと関わる活動を経験します。 ■ 特別支援教育論 子ども一人一人が抱えるさまざまな課題に対して向き合い、共に学び合うことの意味について学びます。 ■ 英語学概論 英語とはなにか、言語学から英語について教える立場から理解します。 	<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教職論 専門職としての教育職員(教員)について理解します。職務分掌や研修制度など幅広く学びます。 ■ 発達心理学 子どもがどのように成長するかを理解します。 ■ 異文化間コミュニケーション論 異文化間のコミュニケーションについて理解します。 	<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教科指導法 各教科をどのように指導するか、模擬授業などを通して理解します。 ■ 教育心理学 教えるということを心理学の視点から理解します。 ■ キャリアデザイン IV 子どもと関わる活動を通して運営することについて理解します。 	<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育実習指導、教育実習(小・中・高) これまでの学びを整理し、クラス運営や学校行事に参加することで、実習内と自己課題を明確にします。学校種ごとに、子ども一人一人の発達課題や学力などを把握し、学校や学年、クラスの目標を達成するためにどのような運営が必要かについて理解します。 ■ 生徒指導論、進路指導論 児童・生徒の指導、進路指導とキャリア教育についての基本的な考え方や必要性について学びます。 	<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育課程編成論 教育の目的や目標を達成するための教育計画について理解します。 ■ 特別活動の理論と方法 学校行事や児童会・生徒会活動などの意義や方法について理解します。 ■ 英語科指導法 IV これまで学んできた英語科指導法をもとに異文化理解とコミュニケーションの指導法を学びます。 	<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 音楽演習 「音楽」及び「音楽表現 I, II」で身に付けた知識や技術をさらに高めます。 ■ 比較教育学 日本の教育を絶対視するのではなく、グローバルな視点で相対化することで、それぞれの課題を理解します。 	<p>..... 科目紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教職実践演習 4年間の学びを振り返り、身に付いた知識と技能を整理し、教育者としてのこれからの課題について考え実践する機会を持ちます。 ■ 専門ゼミ II・卒業研究 専門ゼミ I から継続して研究してきた成果をレポートにまとめます。卒業研究を履修する人は、研究成果を論文形式で執筆し、卒業研究発表会で発表します。

* 国際留学を希望する人は、「アクティブイングリッシュB」(短期留学)「アクティブイングリッシュC」(長期留学)も選択できます。

将来、海外の教育開発に携わることが目標です

齋藤 有紗さん 3年 [新潟第一高等学校出身]

これまで学習者として英語を学んできましたが、この学科では「模擬授業」などを通して、英語を教える側になるために必要なことを実践的に学びます。どのように授業を展開すれば生徒が興味を持ってくれるだろうか、理解してくれるだろうかと考えながら授業を組み立てるプロセスが興味深いです。私は、多感な時期の生徒との関わり方も学びたいと思い、教育心理学などの心理学系科目も履修しました。将来は教育を軸に発展途上国の教育開発に携わりたいと考えています。



少人数での実践的な学びが充実しています

土田 恭徳さん 3年 [北陸学院高等学校出身]

小学校から中・高までの教育連携・接続に貢献する教育者になりたいと思い、この学科を選びました。少人数教育のため、授業で発言したり模擬授業をしたりする機会が多くあり、学習者にとっての主体的・対話的な授業を自分で考え実践し、みんなで学び合える環境が気に入っています。教育実習を行う前のプレ実習では、大学で学ぶ理論と現場での実践を往還して段階的に理解を深めることができました。今後はゼミでの研究を深めて大学院に進学したいと考えています。



Pickup Study

初等中等教育学科アドバンスト・プログラム

幼稚園教諭免許も取得できる 「アドバンスト・プログラム」を新設

初等中等教育学科では、これからの幼保小連携接続、小中高連携接続に対応できるスペシャリストを養成するために、もう一つの免許が取得できる「アドバンスト・プログラム」を新設します。対象は、学業成績が一定以上の基準を満たす学生です。このプログラムにより、初等中等教育学科を卒業しても幼稚園教諭免許*を取得して働くことが可能です。小学校教諭一種免許、中学校教諭一種免許、高等学校教諭一種免許の組み合わせに加えて、幼稚園教諭免許も取得することで学びの幅がさらに広がり、将来の可能性も広がります。

(入学後、学業成績が学科の定める基準に達したものに限り)
*保育所、認定こども園で働きたい場合は、幼児教育学科をお勧めします。



より強みのある
教育者に!

通常取得可能な免許 小学校教諭一種免許・中学校教諭一種免許・高等学校教諭一種免許 + 幼稚園教諭免許

特徴ある支援システム

校長経験者が支援する 「教員採用試験対策講座」

校長経験者で構成されたスタッフが、教員採用試験に向けた筆記試験対策をはじめ、実技試験、面接試験対策などのきめ細かいサポートを行っています。教員採用試験の現役合格者のほとんどが、この講座を受講しています。採用試験への理解を深めるとともに、採用試験に必須のスキルを身に付けて現役合格を目指します。



ネイティブスピーカーが常駐する 「English Center」

「苦手を好きに、好きを強みに」をモットーに、常駐のネイティブスピーカーによる支援で外国語が苦手な児童・生徒から得意な児童・生徒まで幅広く対応する各種講座を用意しています。身に付けたい分野・領域別に自由に講座を選択して受講し、「児童とともに英語・国際理解を楽しむことができる小学校教員」「地元でリーダーシップをとれる中高英語教員」を目指します。

各教育委員会が実施する採用試験において、英語の運用能力(英検、TOEIC、TOEFL)の高スコアや、隣接免許種の取得(小学校教諭であれば中学校・高等学校教諭一種免許(英語))が加点されるといったケースが増えております。



卒業生の声

子どもと一緒に学び続ける教師を目指します

野々市市立富陽小学校 中出 夢さん
2019年卒業 [金沢高等学校出身]

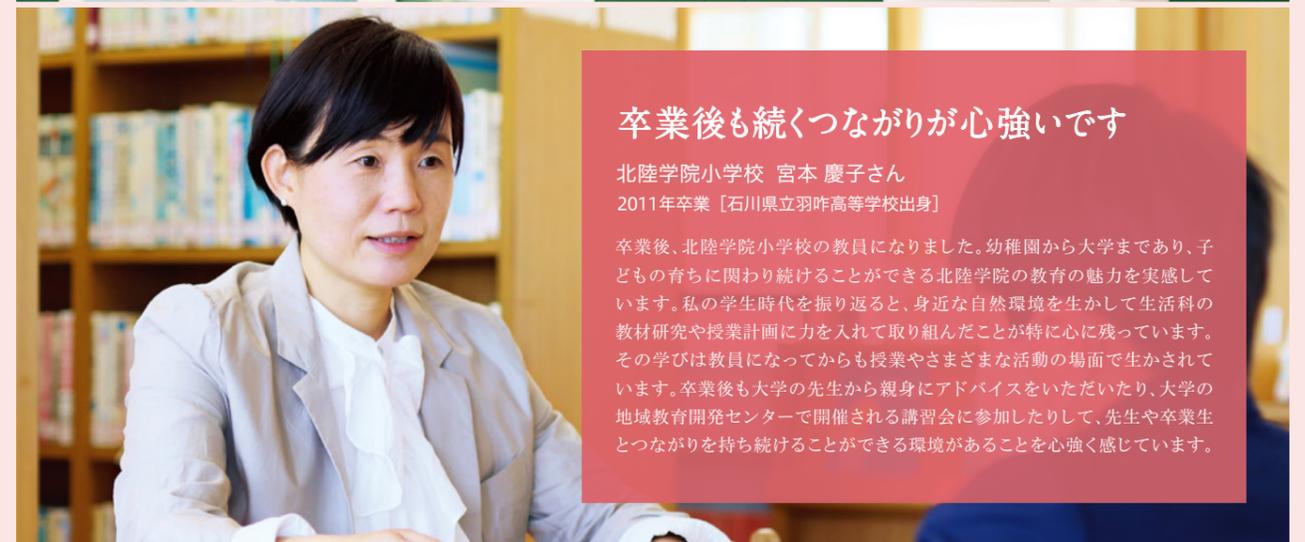
教員採用試験までの手厚い指導に魅力を感じ、北陸学院大学を志望しました。在学中、「英語教育におけるALTと教員の連携」をテーマに研究し、ALT主体ではなく学級担任主体の授業づくりの大切さを学びました。この研究によって学校現場で授業をする際にも子どもの小さなつぶやきを拾い、英語教育に活かすことができています。また、実習などを通して幼児教育から初等教育までの接続を学び、1年生の学級担任になった時にも丁寧な対応をすることができました。先生方には採用試験対策の問題作成、対策授業、面接練習の指導、理科実技の実験練習など、手厚く指導していただき感謝しています。



卒業後も続くつながりが心強いです

北陸学院小学校 宮本 慶子さん
2011年卒業 [石川県立羽咋高等学校出身]

卒業後、北陸学院小学校の教員になりました。幼稚園から大学まであり、子どもの育ちに関わり続けることができる北陸学院の教育の魅力を実感しています。私の学生時代を振り返ると、身近な自然環境を生かして生活科の教材研究や授業計画に力を入れて取り組んだことが特に心に残っています。その学びは教員になってからも授業やさまざまな活動の場面で生かされています。卒業後も大学の先生から親身にアドバイスをいただいたり、大学の地域教育開発センターで開催される講習会に参加したりして、先生や卒業生とつながりを持ち続けることができる環境があることを心強く感じています。

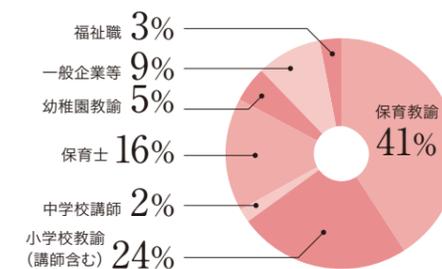


就職実績

就職率 2021年度

100%

内定者内訳 2021年度



小学校教員採用試験
合格率(現役) 2021年度

52.9%

※その他、公立小学校で講師として採用された卒業生も多数います。

2021年度 主な就職先

福井県済生会乳児院、となみ中央福祉会、藤ノ木こども園、くるみ保育園、かわい幼稚園、小陽羽里こども園、エンジェル保育園、わかばこども園、すこやかこども福祉会、田上こども園、かみやちこども園、ほのみこども園、めぐみこども園、大徳学園、金石幼稚園、ひまわりこども園、かもめこども園、津幡とくの幼稚園、羽咋白百合幼稚園、ベネッセスタイルケア、和光幼稚園、浜岡幼保園、ミドリの杜こども園、みなとこども園、鶴来第一幼稚園、聖愛幼稚園、保育所ミライのひろば、北陸学院幼稚園、末こども園、清泉幼稚園、さくら保育園、児童養護施設設松園、社会福祉法人伊奈美園、松原愛育会、北陸ミサワホーム、スギムラ精工、北陸コンピュータ・サービス、OVERRIDE 金沢、金城交通、金沢有松病院